

第1章 ビジョンの策定

1 ビジョン策定の趣旨

岩見沢市では、平成23(2011)年3月に第1次の岩見沢市農業振興ビジョンを策定し、平成29(2017)年4月には第2次の岩見沢市農業振興ビジョンを策定しました。

第2次の岩見沢市農業振興ビジョンでは、基本目標を「未来につなぐ“強い いわみざわ農業”の実現」と定め、農業情勢の変化や課題に対応した農業振興施策を推進してきました。

しかしながら、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(TPP11)^{※1}や日EU経済連携協定(日EU・EPA)^{※2}、日米貿易協定^{※3}、日英包括的経済連携協定(日英EPA)^{※4}の発効など経済のグローバル化が一層進展する中、農家戸数の減少や農業従事者の高齢化、後継者不足、異常気象の頻発、新型コロナウイルス感染症の拡大など農業・農村を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、今後も地域経済を支える基幹産業として維持・発展していくためには、農業者、農業関係機関・団体等と連携・協力しながら、持続可能な生産体制を構築することが必要となっています。

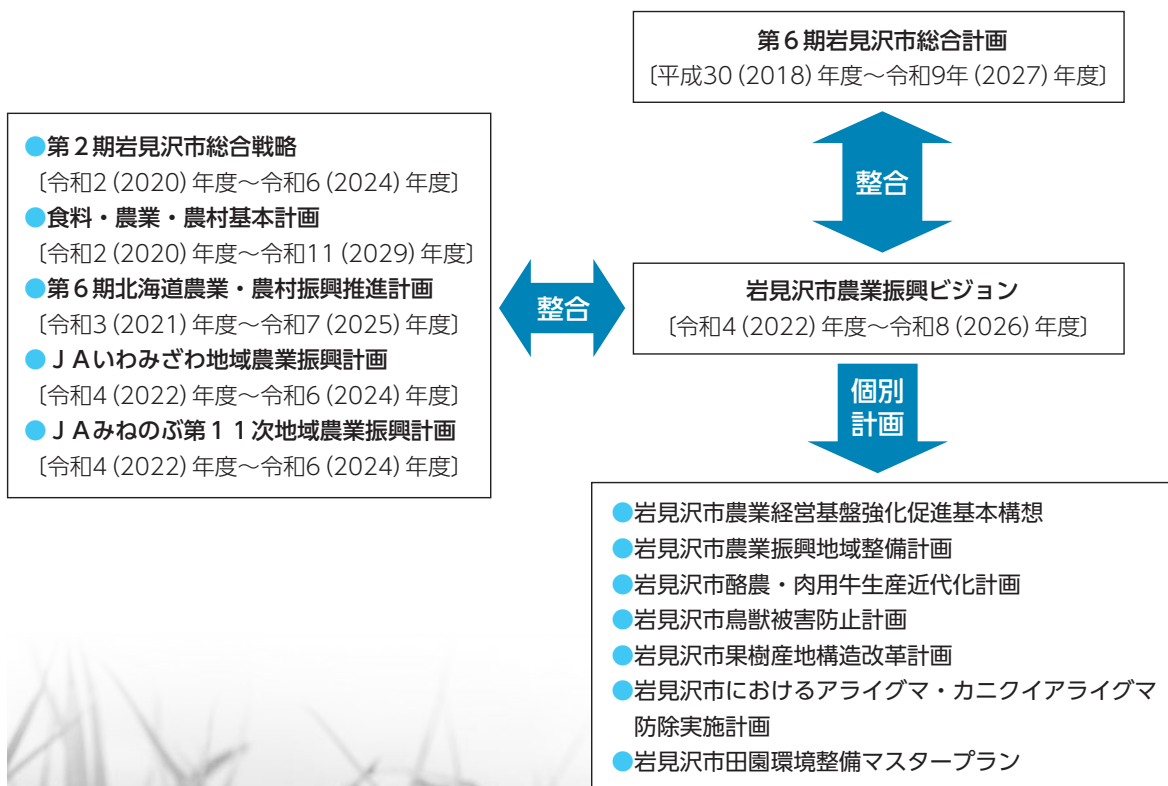
このため、岩見沢市農業の現状や課題を踏まえ、中長期的な視点に立ち、今後における本市農業の振興と持続的な発展に向けて、その基本的な方針や施策の方向性を明確にし、その実現に向けた取組みを行うため、新たな岩見沢市農業振興ビジョンを策定するものです。

-
- ※1 環太平洋パートナーシップに関する…… TPP協定(Trans-Pacific Partnershipの略称、環太平洋パートナーシップ)は、アジア太平洋地域において、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進め、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引、国有企業の規律など、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定。2016年2月に12か国が協定に署名したが、2017年1月に米国が離脱を表明したため、TPP11として、11か国が協定の早期発効に向けた検討を行うことで合意し、2018年3月に署名が行われ、同年12月に発効された。
- ※2 日EU経済連携協定(日EU・EPA)…… 経済連携協定(EPA: Economic Partnership Agreementの略称)は、FTAを基礎としながら、これに加えて、投資の促進、知的財産や競争政策等の分野での制度の調和、様々な分野での協力などのより幅広い分野を対象として、経済上の連携を強化することを目的とした協定のこと。日EU・EPAは、2013年4月に交渉を開始し、2018年7月に署名、2019年2月に発効された。
- ※3 日米貿易協定…… 「日本国とアメリカ合衆国との間の貿易協定」の略称。2018年9月の日米共同声明に沿って交渉が行われ、2019年10月に署名、2020年1月に発行された。
- ※4 日英包括的経済連携協定(日英EPA)…… 2020年6月に交渉を開始し、同年10月に署名、2021年1月に発効された。EU離脱後の英国との間で、日EU・EPAに代わる新たな経済連携協定。

2 ビジョンの位置付け

このビジョンは、上位計画である「第6期岩見沢市総合計画」の基本施策や取組方針とともに、「第2期岩見沢市総合戦略」、国の「食料・農業・農村基本計画」、北海道の「第6期北海道農業・農村振興推進計画」、「JAいわみざわ地域農業振興計画」、「JAみねのぶ第11次地域農業振興計画」との整合性を図りながら策定し、岩見沢市農業の振興と持続的な発展に向けて、進めるべき基本的な方針や施策の方向性を示すものです。

農業振興ビジョンの位置付け



3 計画の期間

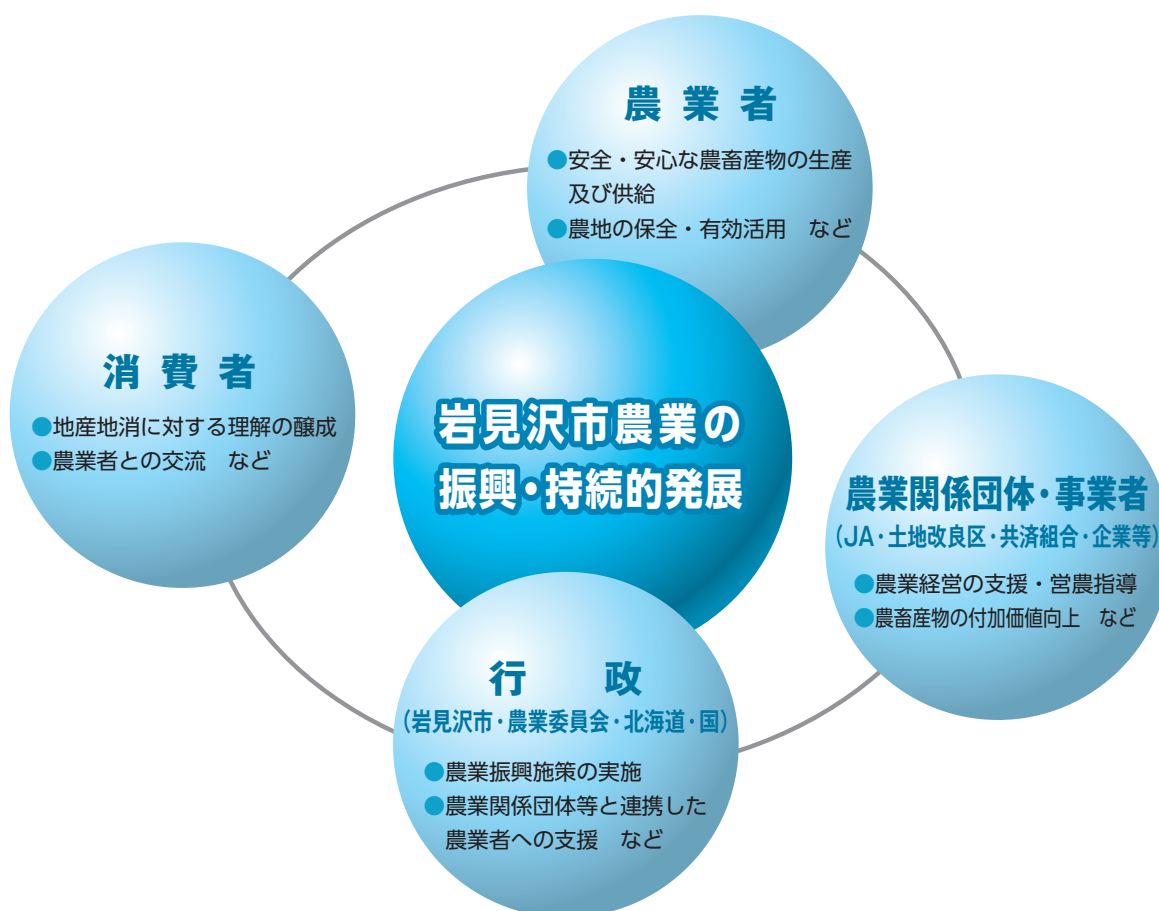
このビジョンは、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間を計画期間とします。

4 ビジョンの推進

ビジョンの推進にあたっては、農業者、消費者、農業関係団体・事業者及び行政が、それぞれの役割を果たす中で、農業全般に関して連携・協力しながら取り組みを推進するとともに、国や北海道の施策の活用、あるいは各種施策に対する支援を求め、岩見沢市農業の振興と持続的な発展を図っていきます。

また、このビジョンに基づき実施する各事業については、毎年、進捗状況の点検や事業評価を行うなど「PDCAサイクル^{※5}」の考え方を活用し、施策を効果的・効率的に推進していきます。

なお、各施策の進捗状況や社会経済情勢の変化に応じて、変更が必要となった場合は適宜見直しを行うこととします。



※5 PDCAサイクル …… 事業活動において、計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) の4つのステップを一貫した流れとしてとらえ、それらを循環させることで、継続的な改善を図る手法。